

2020年度放課後等デイサービス 自己評価及び分析と改善

チェック項目		東京都																		
		みなみ野園			南大沢園			第二南大沢園			大塚園			堀之内園			台町園			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	6	0	0	4	1	0	5	0	0	4	1	0	4	2	0	
	2 職員の配置数は適切であるか	5	1	1	6	0	0	6	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	2	6	0	0	1	1	4	5	0	0	4	0	1	6	0	0	
分析	環境整備については改善を行ってきた。第二南大沢園は2階なので、階段の昇り降りに十分なサポートを行っている。正職員4人体制(堀之内園は3人)であり、パート職員を配置しているので、適切な職員体制になっている。																			
改善方針	みなみ野園について、正職員とパート職員異動があった事が影響していると思われるので、今後の職員の異動については、十分な検討を行って対応する。																			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	2	0	6	0	0	5	1	0	4	1	0	5	0	0	4	2	0	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	6	0	0	6	0	0	4	1	0	4	1	0	4	2	0	
	6 この自己評価の結果を、事業所の情報共有ホームページ等で公開しているか	3	4	0	6	0	0	6	0	0	4	1	0	3	2	0	4	2	0	
7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	1	0	4	2	6	0	0	1	1	3	1	1	3	1	4	1		
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	6	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	4	0	2		
分析	第三者による外部評価は行ってないが、業務システムによる標準化やマニュアルなどにより業務の標準化を達成している。外部講師による教育セミナーを業務に支障のない時間帯に、1回/月開催しているが、振り返りやセミナーに参加できなかった職員がいる。																			
改善方針	グループウェアシステム(ガールーン)、業務システム(HUG)、管理システム(クロス・PCA会計)によるロジカルチェックでの業務の統一化とリスク管理委員会の運営により、第三者による外部評価は行わなくても問題ないかと判断している。振り返りや参加できなかった職員には、アーカイブによる対応を行う。																			
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を実施しているか	6	1	0	6	0	0	6	0	0	5	0	0	4	1	0	4	2	0	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	0	6	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	6	0	0	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	6	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	4	2	0	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	6	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	3	3	0	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	2	4	1	6	0	0	6	0	0	4	0	0	4	1	0	4	2	0	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3	0	6	0	0	6	0	0	4	1	0	5	0	0	6	0	0	
	15 支援開始前には必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	1	6	0	0	6	0	0	5	0	0	5	0	0	5	1	0	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	1	6	0	0	6	0	0	5	0	0	5	0	0	5	1	0	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	6	0	0	6	0	0	5	0	0	5	0	0	4	2	0	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2	0	6	0	0	5	1	0	4	1	0	4	1	0	4	2	0	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4	3	0	4	2	0	5	1	0	1	3	0	3	2	0	5	1	0	
	分析	職員が現場で考察した教育方法をベルテルTVとして取り纏めている。内容は、「ライフトレーニング」「リズム遊び」「制作」「読み聞かせ」「折り紙」「感覚統合」「運動遊び」などの療育コンテンツを作成して、各園での療育教材として活用している。																		
	改善方針	中途入社の正職員とパート職員に情報共有の問題が発覚したので、掲示板などを利用して情報共有の徹底を図る。																		
	関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した者もふくまれているが参加しているか	3	4	0	1	5	0	5	1	0	1	2	1	4	1	0	5	0	1
		21 学校の情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	0	0	6	0	0	5	1	0	5	0	0	3	1	1	6	0	0
		22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	5	0	1	4	1	2	2	2	3	1	0	0	1	4	0	3	1
		23 放学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等と間で情報共有と相互理解が図れているか	1	5	1	0	6	0	2	2	2	1	0	3	1	3	1	4	1	1
		24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や相談を受けているか	4	2	1	1	2	3	1	3	2	1	0	3	2	2	1	3	2	1
		25 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	1	0	0	3	3	1	2	3	1	0	4	0	2	3	3	2	
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		1	5	1	1	2	3	0	3	3	1	0	3	0	3	2	1	0	5	
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		7	0	0	6	0	0	5	0	1	5	0	0	5	0	0	5	1	0	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	4	1	1	5	0	1	2	3	4	0	0	1	2	2	4	2	0	
分析		学校との情報共有による、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持って運営をしています。																		
改善方針	地域連携での対応としては、まだ不十分な状況なので、相談支援事業所と連携を深めて子供たちのサポートを進めていきます。地域の福祉事業所が参加可能なセミナー開催を検討します。																			
保護者への説明責任等	30 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	6	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	4	0	2	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	6	0	0	6	0	0	4	0	0	2	3	0	4	1	1	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	1	5	1	0	2	1	3	4	0	0	1	3	1	1	1	4	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0	6	0	0	5	0	0	4	0	0	3	2	0	4	2	0	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	6	0	0	6	0	0	5	0	0	5	0	0	5	1	0	
	35 個人情報に十分注意しているか	7	0	0	6	0	0	6	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	6	0	0	6	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	2	4	1	1	4	1	1	2	3	1	0	4	1	3	1	2	2		
	分析	保護者会は2回/年の開催(コロナにより今回は開催なし)、HPでのブログ、ベルテル通信、活動記録、連絡ノートなどの実施による情報共有を積極的に行っています。																		
	改善方針	保護者会などが開催できませんので、更に情報を共有するために「療育の活動記録」や「サービス提供記録」を保護者が何時でも見て振り返る事が出来るようにします。ハロウィンの時には地域のお店と一緒に活動していますが、更に地域に開かれた施設運営を行う為に発達障害の啓発活動として地域セミナーの開催を検討します。																		
非常時の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0	6	0	0	6	0	0	5	0	0	4	0	1	4	2	0	
	39 非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	6	0	0	6	0	0	4	1	0	5	0	0	5	1	0	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	0	6	0	0	6	0	0	4	1	0	4	1	0	4	2	0	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	4	1	1	5	0	5	1	0	4	0	0	4	1	0	5	1	0	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	0	5	1	0	6	0	0	4	0	0	4	1	0	6	0	0	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	0	6	0	0	6	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	
	分析	各園のリスクマネージャーが参加するリスク管理委員会によりヒヤリハット分析を毎月行って周知徹底しています。身体拘束については、保護者に十分な説明後に保護者に同意を取って支援計画に記載していますが、組織的に決定していない場合があります。																		
改善方針	組織的に決定するためのワークフローを策定し職員全員に共有する。																			